

# 資料編

1. SDGs
2. ふくしま水道事業ビジョン2026策定経過
3. 歴史年表



## 資料編




### 1. SDGs

福島市上下水道局は、SDGsを意識した事務事業を推進し、様々な取組を通じてSDGsの達成に貢献してまいります。



※SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015（平成27）年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030（令和12）年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

## (1) 視点「安全」とSDGsの対応表

施策の柱・施策	SDGs
柱1 水道水質管理の徹底	<div>3 すべての人に健康と福祉を</div>  <div>6 安全な水とトイレを世界中に</div> 
施策① 水質管理の徹底	
施策② 給水装置の適正管理	<div>15 陸の豊かさも守ろう</div> 
柱2 水源汚染リスク対策	
施策③ 水源集水域の保護	
施策④ 水源の監視徹底	

## (2) 視点「強靱」とSDGsの対応表

施策の柱・施策	SDGs
柱1 施設の再編	<div>6 安全な水とトイレを世界中に</div>  <div>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</div> 
施策⑤ 施設再編の推進	
施策⑥ 老朽施設の更新と耐震化	
施策⑦ 土湯地区・茂庭地区の安定供給確保	<div>11 住み続けられるまちづくりを</div>  <div>13 気候変動に具体的な対策を</div> 
柱2 災害への備え	
施策⑧ 施設耐震化の推進	
施策⑨ 応急給水・応急復旧体制の充実	
施策⑩ バックアップ機能の強化	

(3) 視点「進化」とSDGsの対応表

施策の柱・施策	SDGs
柱1 持続可能な水道経営	       
施策⑪ 経営基盤の強化	
柱2 適切な資産管理	
施策⑫ 適正な施設維持管理	
施策⑬ 水道施設情報管理システムの有効活用	
柱3 広域連携・官民連携	
施策⑭ ふくしま田園中枢都市圏との連携	
施策⑮ 民間技術力の活用	
柱4 人材育成	
施策⑯ 職員研修計画に基づく人材育成	
施策⑰ OJTによる技術継承	
施策⑱ 地域全体での技術力確保	
柱5 ICT・DXの推進	
施策⑲ 業務革新による効率化とコスト縮減	
施策⑳ お客さまサービスの向上	
柱6 時代・ニーズに合った広報	
施策㉑ 水需要拡大喚起対策	
施策㉒ 市民ニーズの把握と反映	
柱7 水循環の形成	
施策㉓ 脱炭素水道の推進	
施策㉔ 再生可能エネルギーの導入	

## 2. ふくしま水道事業ビジョン2026 策定経過

会議開催日	会議名	内容
令和5年 12月20日	第1回水道事業基本計画策定委員会	水道事業ビジョン策定について 策定スケジュールについて 改訂のポイントについて
令和6年 1月23日	第1回水道事業基本計画策定委員会幹事会	水道事業ビジョン策定について 策定スケジュールについて 改訂のポイントについて
1月25日	第1回ワーキンググループ(WG)会議	現行ビジョンについて
2月2日	第2回 WG 会議	外部講師による基調講演 「水道第四世代」聴講 外部講師：元厚労省水道課長 熊谷和哉氏
2月15日	第2回 委員会	策定スケジュールについて
2月19日	第2回 幹事会	策定スケジュールについて
2月29日	第3回 WG 会議	策定スケジュールについて WG での作業詳細について
5月13日	第4回 WG 会議	現状分析・市民アンケートについて
5月21日	第5回 WG 会議	SWOT 分析・市民アンケートについて
6月24日	第6回 WG 会議	SWOT 分析・クロス SWOT 分析・重要課題について
7月11日	第3回 委員会	ビジョン策定方針について
7月25日	水道事業経営審議会	ふくしま水道事業ビジョン 2026 策定について
8月6日	第7回 WG 会議	重要課題・根拠資料等について 基本方針等について
10月22日	第8回 WG 会議	実施計画等検討について
10月25日	環境省大臣官房審議官(元厚生労働省水道課長)との意見交換会	ビジョン方向性について
11月20日	第9回 WG 会議	事務事業について
12月20日	第3回 幹事会	ふくしま水道事業ビジョン 2026 骨子について
12月27日	第10回 WG 会議 第4回 幹事会	ビジョン冊子(仮) ※書面開催
令和7年 1月30日	第4回 委員会	ふくしま水道事業ビジョン 2026 骨子について
2月14日	副市長説明	ふくしま水道事業ビジョン 2026 骨子について

会議開催日	会議名	内容
2月19日	市長説明	ふくしま水道事業ビジョン 2026 骨子について
2月26日	水道事業経営審議会	ふくしま水道事業ビジョン 2026 骨子について
5月14日	第11回 WG 会議	これまでの経過等について
6月26日	第4回 幹事会	ふくしま水道事業ビジョン 2026 素案について
7月3日	第5回 委員会	ふくしま水道事業ビジョン 2026 素案について
7月11日	副市長説明	ふくしま水道事業ビジョン 2026 素案について
7月15日	市長説明	ふくしま水道事業ビジョン 2026 素案について
7月29日	水道事業経営審議会	ふくしま水道事業ビジョン 2026 素案について
8月7日	定例記者会見	ふくしま水道事業ビジョン 2026 素案のパブリックコメントについて
8月7日 ～9月8日	パブリックコメント	市ホームページ及び指定閲覧場所にて意見募集
9月30日	水道事業経営審議会	ふくしま水道事業ビジョン 2026 原案について 財政計画について
10月2日	第6回 委員会	ふくしま水道事業ビジョン 2026 原案決定
10月6日	副市長説明	ふくしま水道事業ビジョン 2026 原案について
10月8日	市長説明	ふくしま水道事業ビジョン 2026 策定

### 3. 歴史年表

#### ～水道事業の歩み～

西暦	明治		
1876	9 年		中野新道開設に伴い佐藤柳治郎ら柳清水からの引水を計画するが実施に至らず
1878	11 年		鐸木三郎兵衛ら箱樋を用い柳清水よりの引水工事に着手
1885	18 年		水道を町有とし、「松のくり抜き管」に改め拡張工事を行う
1889	22 年		木管を陶管に改良工事はじまる
1906	39 年	10 月	福島町水道条例（改正）施行
1907	40 年	4 月	福島市制施行
西暦	大正		
1913	2 年	2 月	水利調査会の設置
1919	8 年		工学博士中島鋭治に上水道計画設計を委嘱
1921	10 年	3 月	上水道布設認可及び国庫補助交付指令
1922	11 年	1 月	水道給水条例許可
1922	11 年	6 月	上水道起工式
1925	14 年	3 月	上水道試験通水開始
1925	14 年	4 月	給水開始、水道課設置
西暦	昭和		
1947	22 年	7 月	第 1 次拡張事業認可（ろ過池及びポンプ増設）
1948	23 年	6 月	第 2 次拡張事業着工（簡易水道八島田水源改良）
1951	26 年	3 月	第 3 次拡張事業認可（清水水源新設）
1952	27 年	4 月	市役所五老内町に新築移転（水道課も同時移転）
1952	27 年	10 月	地方公営企業法施行に伴い水道事業管理者を置き、水道事業部を設置
1955	30 年	3 月	土湯村編入合併、土湯簡易水道を引き継ぐ
1955	30 年	11 月	水道事業部を水道部に改める、水道事業管理者を廃止する
1958	33 年	3 月	水道部庁舎竣工、第 4 次拡張事業認可（急速ろ過装置新設）
1959	34 年	7 月	第 1 回全国水道週間始まる
1960	35 年	8 月	荒井簡易水道事業認可
1962	37 年	12 月	第 5 次拡張事業認可（宮代水源新設）
1963	38 年	12 月	水道事業管理者を置く
1964	39 年	1 月	飯坂町編入合併、飯坂町上水道を引き継ぎ、飯坂営業所設置
1966	41 年	6 月	信夫村編入合併、信夫上水道を引き継ぎ、信夫営業所設置
1966	41 年	9 月	台風 26 号により八木田橋及び新松川橋添架配水管被災
1966	41 年	12 月	飯坂上水道第 2 次拡張事業認可（湯野水源・大坊水源改良）
1967	42 年	1 月	福島市水道事業の設置等に関する条例施行
1967	42 年	3 月	松川広域簡易水道事業認可
1968	43 年	9 月	清水水源応急拡張事業認可（深井戸新設）
1968	43 年	10 月	吾妻町編入合併 庭坂上水道、笹木野簡易水道、高湯簡易水道を引き継ぐ
1970	45 年	2 月	第 6 次拡張事業認可（渡利浄水場改良）
1970	45 年	4 月	隔月検針実施（福島 3 分の 2、瀬上、荒井、笹木野）、吾妻営業所設置
1970	45 年	10 月	松川営業所設置
1971	46 年	4 月	隔月検針全地域実施（高湯除く）
1971	46 年	5 月	荒井簡易水道第 1 次拡張事業認可（苗代添水源新設）
1971	46 年	7 月	異臭味除去のため、粉末活性炭注入設備完成（渡利浄水場）
1972	47 年	4 月	隔月徴収実施（全地域）、土湯簡易水道第 1 次拡張事業認可（鷲倉山水源変更）、高湯簡易水道第 1 次拡張事業認可（浄水・配水施設改良）
1972	47 年	5 月	高度浄水処理施設として粒状活性炭ろ過槽完成（渡利浄水場）
1972	47 年	11 月	全市統一料金とし、口径別料金体系に改め加入金制度導入
1973	48 年	4 月	摺上川ダム予備調査開始



西暦	昭 和		
1976	51 年	11 月	東北新幹線工事(鎌田地内)で水道配水管破損し約 4, 500 戸断水 (鎌田・瀬上及び余目の一部) 自衛隊が応援給水に出動
1977	52 年	4 月	飯坂・信夫・庭坂、荒井・笹木野、松川の簡易水道等を福島市上水道として統合、 第 7 次拡張事業認可(渡利浄水場改良)
1978	53 年	6 月	宮城県沖地震発生(福島市震度 5)
1978	53 年	10 月	福島市最大の断水事故発生(応援要請により自衛隊出動) 渡利浄水場内配水管破損により、取水設備が冠水し取水不能となる。 断水戸数約 30, 000 戸(旧市内、南部地区及び西部地区の一部)のため、応援給水 活動を要請
1979	54 年	4 月	水道部を水道局に名称変更、水道局は市役所分庁舎(旧福島郵便局跡)に移転
1982	57 年	4 月	摺上川ダム実施計画調査に着手
1982	57 年	7 月	渡利浄水場に摺上川ダム建設を前提とした暫定豊水水利権が許可される
1982	57 年	9 月	洪水により飯坂町の小川水管橋流失
1984	59 年	4 月	宮代水源ポンプ所自動化、夜間勤務廃止
1985	60 年	4 月	水道料金を平均 19.7%引き上げ改定
1985	60 年	10 月	福島地方水道用水供給企業団の設立許可
1988	63 年	4 月	水道料金オンラインシステム本稼動(業務課) 下野寺水源ポンプ所完成(稼動)、宮代水源ポンプ所 日勤を廃止(無人化)
西暦	平 成		
1989	元年	4 月	大坊水源ポンプ所自動化、夜間勤務廃止 第 8 次拡張事業認可(摺上川ダム受水に向けての管網整備)
1991	3 年	4 月	大坊水源ポンプ所、日勤廃止(無人化) 西田給水施設組合を福島市上水道へ統合
1992	4 年	4 月	清水水源ポンプ所自動化、夜間勤務廃止 財務会計システム導入
1993	5 年	4 月	清水水源ポンプ所日勤廃止(無人化)、給水装置工事の一元化(簡素化) 大笹生東部簡易水道組合を福島市上水道へ統合
1993	5 年	6 月	館ノ山配水池完成(5,000m <sup>3</sup> )
1994	6 年	12 月	摺上川ダム本体建設着工
1995	7 年	1 月	阪神・淡路大震災発生(給水応援出動 1 月 20 日～2 月 13 日)
1995	7 年	7 月	大笹生簡易水道組合を福島市上水道へ統合
1995	7 年	10 月	水道料金を平均 12.72%引き上げ改定
1996	8 年	4 月	恵名持簡易水道、川子坂給水施設組合を福島市上水道へ統合
1997	9 年	4 月	六角給水施設組合を福島市上水道へ統合
1997	9 年	8 月	堰端給水施設組合を福島市上水道へ統合
1998	10 年	4 月	第 8 次拡張事業変更(基本計画)
1999	11 年	3 月	天王下簡易水道組合を福島市上水道へ統合
2000	12 年	3 月	北部配水池完成(9,300m <sup>3</sup> ) 飯坂・松川・信夫・吾妻営業所廃止
2001	13 年	3 月	金剛山配水池完成(1,000m <sup>3</sup> )
2001	13 年	11 月	大笹生上町簡易水道組合を福島市上水道へ統合
2002	14 年	5 月	管網解析システム導入
2002	14 年	10 月	高取簡易水道組合を福島市上水道へ統合
2002	14 年	12 月	二子塚簡易水道組合を福島市上水道へ統合
2002	14 年	12 月	南部受水池完成(7,500m <sup>3</sup> )
2003	15 年	3 月	中央部受水池完成(15,000m <sup>3</sup> )
2003	15 年	4 月	福島地方水道用水供給企業団からの暫定受水開始(1 日最大 27,900m <sup>3</sup> )
2003	15 年	12 月	横堀給水施設組合を福島市上水道へ統合



西暦	平成		
2004	16 年	2 月	摺上川ダム試験湛水開始
2004	16 年	3 月	川寒給水施設組合を福島市上水道へ統合 第 8 次拡張事業変更
2004	16 年	10 月	新潟県中越地震（給水応援出動 10 月 24 日～11 月 3 日）
2005	17 年	4 月	福島地方水道用水供給企業団からの受水量増量（1 日最大 55,700m <sup>3</sup> ） 摺上川ダム最高水位到達 水道料金を平均 9.59%引き上げ改定
2005	17 年	5 月	谷地簡易水道組合を福島市上水道へ統合
2005	17 年	6 月	通水 80 周年記念事業開催
2005	17 年	9 月	摺上川ダム竣工式
2006	18 年	4 月	堰場簡易水道組合を福島市上水道へ統合
2006	18 年	6 月	福島市水道事業基本計画策定
2007	19 年	3 月	渡利浄水場廃止式
2007	19 年	4 月	市制施行 100 周年記念事業 摺上川ダム水本格受水開始記念式典
2008	20 年	4 月	滝ノ沢水道組合・榎内給水施設組合を福島市上水道へ統合 給水装置資金融資あっせん制度、鉛製給水管取替工事補助金交付制度開始
2008	20 年	7 月	福島市・飯野町合併（飯野出張所設置）
2009	21 年	4 月	水道料金等徴収業務委託開始 給水管布設工事助成制度導入
2009	21 年	12 月	清水原給水組合を福島市上水道へ統合
2010	22 年	4 月	水道料金を平均 5.39%引き下げ改定
2010	22 年	12 月	五十須場簡易水道組合を福島市上水道へ統合
2011	23 年	3 月	東日本大震災発生、市内全域断水
2011	23 年	9 月	鎌田簡易水道組合を福島市上水道事業へ統合
2013	25 年	7 月	山形県内豪雨（応急給水派遣 7 月 23～27 日）
2013	25 年	12 月	庭塚北部簡易水道組合を福島市上水道へ統合
2015	27 年	4 月	公営簡易水道（土湯・高湯・茂庭 3 地区）を福島市上水道事業へ統合 ペットボトル水「ふくしまの水」がモンドセレクションにおいて金賞受賞
2015	27 年	6 月	通水 90 周年記念事業開催
2015	27 年	7 月	広報紙 SuRiKaMi 発行開始
2015	27 年	9 月	優良指定給水装置工事事業者等表彰制度設立
2015	27 年	11 月	ふくしま水道事業ビジョン 2016 策定
2015	27 年	12 月	前田水道組合を福島市上水道へ統合
2016	28 年	4 月	配水管布設工事助成制度開始 水道料金を平均 2.89%引き下げ改定 熊本地震（漏水調査支援派遣 5/2～9）
2016	28 年	7 月	個別需給給水契約制度開始
2016	28 年	12 月	笹谷新町小櫓簡易水道組合を福島市上水道へ統合
2017	29 年	6 月	ペットボトル「ふくしまの水」が ITQI（国際味覚審査機構）において優秀味覚賞を受賞
2017	29 年	12 月	桜本簡易水道組合を福島市上水道へ統合
2018	30 年	4 月	北部配水池における小水力発電事業開始
西暦	令和		
2019	元年	10 月	令和元年東日本台風（令和元年台風 19 号）発生
2020	2 年	12 月	南林簡易水道組合、林ノ内給水施設組合を福島市上水道へ統合
2021	3 年	2 月	福島県沖地震発生
2021	3 年	4 月	水道施設情報管理システム構築完了

西暦	令和		
2022	4年	3月	福島県沖地震（応急復旧派遣3月17日～24日）
2024	6年	1月	能登半島地震（応急給水派遣1～2月、応急復旧派遣3～4月）
2024	6年	4月	ペットボトル「ふくしまの水」がモンドセレクションにおいて10年連続金賞以上を受賞
2025	7年	5月	水道通水100周年（100周年記念事業開催）